

江戸川清掃工場建替工事の進捗状況

～水とみどりに調和した地域に優しい江戸川清掃工場～

東京二十三区清掃一部事務組合（以下「清掃一組」という。）は、23区で発生する一般廃棄物の安定的な全量処理体制の確保に向け、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき清掃工場等の施設整備を行っています。

令和2年9月から始まった江戸川清掃工場建替工事は、5年目を迎えます。現在は、旧工場の解体が完了し、新工場の建設工事を進めています。今回は、工事の進捗状況と、建替事業について地域住民の皆様にご理解・ご協力いただくための活動をご紹介します。

新工場の特徴

①プラント設備

建替後の新工場は、焼却能力600トン／日（300トン／日・炉×2基）で、旧工場と同じとなりますが、ごみ発電設備の発電能力は旧工場と比べ1.7倍に



完成イメージパース

向上します。また、最新の公害防止設備を導入し、工場から排出される排ガス、排水の基準を遵守するとともに、新たに太陽光発電設備を設置し、環境負荷の低減を図ります。

②緩衝緑地

旧工場建設時から地域住民の皆様にご利用されている敷地北・東部の緩衝緑地は、建替工事に併せて再整備します。さらに、南側にも新たに公開空地として緑地を整備します。

③災害対策

敷地地盤を1.6メートルかさ上げするとともに、工場棟の扉等の開口部には止水対策設備を採用し浸水対策を図るなど、地域状況を踏まえた災害対策を講じます。

建替工事の進捗状況

①解体工事の状況

旧工場棟の解体は令和3年6月



既存煙突基礎の解体

から開始し、令和5年9月に完了しました。

また、既存煙突は地上部分の解体に引き続き、令和5年12月から地下の基礎部分の解体を開始し、令和6年7月に完了しました。

②建設工事の状況

新工場棟建設のための掘削工事は、旧工場棟の地下部分の解体と併せて行いました。地下部分の建設工事が地上付近まで進み、令和6年11月からは地上部分の鉄骨フレーム組立工事を開始しています。

清掃工場の基幹部である焼却プラント設備の設置工事は、令和6年9月から始まりました。設置にあたっては、建屋工事が完了した地下部分から行っています。プラント設備は重量機器のため、大型の移動式クレーンやタワーワークレーンを使用して、工場内部へ取り込んでいきます。

清掃工場のシンボルである煙突は、地中への杭の施工を行った後、



建設工事の全景

令和7年1月から地上部分の工事を開始しています。

今後は、外構の盛土工事や建築設備工事も加わり、令和9年5月のしゅん工に向け、工事が佳境を迎えていきます。



工場棟1階の状況



汚水処理設備タンクの設置状況

開かれた建替事業として

清掃一組では、清掃工場等の整備にあたり、事業実施前からの住民説明会や地域住民を委員とした協議会等、様々な機会を通じて地域住民の皆様へ建替計画や工事についての理解を深めていただくための活動を実施しています。

① 住民説明会

地域住民の皆様へ向けた説明会は、平成28年1月に整備事業事前説明会を開催した以降、事業の進捗に併せて建替計画素案・環境影響評価書案・解体工事・建設工事の説明会をそれぞれ開催してきました。特に工事説明会では、騒音や振動等の影響が大きいため、工事車両ルートや作業工法、対策方法などの具体的な説明を行いました。

資料や質問回答については清掃一組HPに掲載しています。



建替協議会の様子

② 建替協議会

事業や工事内容を地域住民の皆様と共有し、意見交換を行いながら工事を進めていくため、清掃一組、工場所在区の江戸川区、地域住民代表を委員とした建替協議会を開催しています。平成27年に設置・開催して以降、進捗に併せて開催し、令和6年7月には第15回の建替協議会を開催しました。建設工事開始後は年に2回開催しており、建替工事の作業内容や、苦情・問合せの状況等を説明しています。

③ 工事現場見学会

地域住民の皆様を対象に、実際の作業内容や工事現場の状況を理解していただくため、見学会を年に一回開催しています。

これまで令和4年、5年の2回開催し、いずれも100名程度の地域住民の皆様に参加いただきました。工事中の現場や実際に使用



工事現場見学会の様子

している重機を間近で見ることが出来る機会となっています。地域住民の皆様が工事への理解が深められるよう努めています。

④ 工事現場での情報提供

実際の工事現場では、進捗に伴い日々作業が変化していきます。このため、地域住民の皆様へ工事状況などを常に提供できるように、敷地周囲の工事用仮囲いにデジタルサイネージを設置しています。

また、情報公開コーナーを歩道に面して設置し、各種工程表、車両運行計画等、工事に関する情報のほか、旧工場の歴史や清掃工場の役割等、様々な情報を提供しています。

⑤ 緩衝緑地の清掃

緩衝緑地は、工事中においても開放しており、地域住民の皆様が気持ちよく利用できるような毎日の清掃活動を行っています。



緩衝緑地清掃活動

このほか、工事専用ホームページを開設し、工事状況の紹介をするとともに、騒音や振動を伴う作業の事前周知も行っています。今後も地域住民の皆様への理解を得ながら、地域に親しまれる清掃工場をめざし、工事を進めてまいります。

(東京二十三区清掃一部事務組合 建設部建設課)

【工事の概要】

■ 工事場所	東京都江戸川区江戸川二丁目36番1号
■ 敷地面積	約28,000㎡ (緩衝緑地含む)
■ 工期	令和2年9月30日から令和9年5月31日まで
■ 施工者	カナデピア・竹中特定建設工事共同企業体
■ 建設工事	工場棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 高さ約26m (地上5階・地下3階) 煙突 高さ約150m
■ プラント	焼却炉 全連続燃焼式火格子焼却炉 (廃熱ボイラ付) 焼却能力 600トン/日 (300トン/日・炉×2基) 発電設備 蒸気タービン発電機 (定格出力 約21,000kW)



工事専用HP
(<https://www.edogawa-tatekai.jp/tatekai.jp/>)